

時期	1年C巡	単元	実習	教科名	1 C_TM分解組立	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	自動車整備士三級（総合） 実習ノート		発行日	2025.4.1
総時限	24時限				教科担当	
必要時限	24時限					

指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの着脱、分解、組立、点検等について指導する。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①マニュアルトランスミッションの構造、機能を理解する。
- ②動力伝達装置を総合的に学ぶ。

授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）

- ①マニュアルトランスミッションの分解、組立を通し、構造、機能が理解出来るようになる。
- ②変速機のギヤ比と回転数及びトルクの関係が理解出来るようになる。
- ③クラッチの整備に関して復習し点検・修正を理解出来るようになる。
- ④プロペラシャフトの整備に関して復習し点検・修正を理解出来るようになる。
- ③ファイナルギヤの整備に関して復習し点検・修正を理解出来るようになる。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。
整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 - ①口頭試験：動力伝達順序説明
 - ②筆記試験：変速比、回転数、トルクの計算
 - ③筆記試験：動力伝達装置
 - ④実技試験：シンクロ仮組

準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

時期	1年C巡	単元	学科	教科名	1C_TM分解組立	
授業概要 (時限ごとの主な授業内容)					教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	座学	動力伝達装置 2 構造・機能～ (イ) クラッチ本体			三級自動車整備士 (総合) 実習ノート	
2	座学	動力伝達装置 (ロ) 操作機構～ (b) 油圧式			作業台大 (黄) ステンレスパーツスタンド	10 10
3	座学	2) トランスミッション～トランスミッションギヤ比計算			バイス 油圧プレス	10 2
4	実技	マニュアルトランスミッション分解 (ケース取り外しまで)			クラッチディスクAssy クラッチカバー (ダイヤフラム)	10 10
5	座学	各ギヤのギヤ比計算			クラッチカバー (コイル) クラッチベースプレート	10 10
6	座学	各ギヤのギヤ比計算			ミッションセッティングプレート メインシャフトベアリングプーラ	10 10
7	座学	トランスミッション本体			ベアリングリプレーサ ギヤプーラ	10 10
8	実技	プレスの地路扱い			スナッピングプライヤ(開穴) スナッピングプライヤ(閉平)	10 10
9	実技	マニュアルトランスミッション分解 (各ギヤの分解)			スナッピングプライヤ(開平) ピンポンチ (4.5mm)	10 10
10	実技	マニュアルトランスミッション分解 (各ギヤの分解)			ピンポンチ (5.8mm) シクネスゲージ	10 10
11	実技	マニュアルトランスミッション分解 (各ギヤの分解)			プラスチックハンマ マグネットハンド	10 10
12	座学	(a)イナーシャロックキー式			アジャスタブルレンチ(300mm) アジャスタブルレンチ(450mm)	10 2
13	座学	(a)イナーシャロックキー式			クラッチグリス コンパネ	 10
14	座学	(ロ) 操作機構～ギヤ抜け防止機構				
15	座学	(2) オートマチックトランスミッション、(ロ) 変速機構 (ハ) 油圧制御装置				
16	まとめ	シンクロ組立実技演習				
17	実技試験	シンクロ組立実技試験				
18	実技	マニュアルトランスミッション組立				
19	実技	マニュアルトランスミッション組立				
20	実技	マニュアルトランスミッション組立				
21	実技	マニュアルトランスミッション組立				
22	レポート課題	レポート作成				
23	まとめ	トランスミッション組立注意事項のまとめ				
24	期末試験	筆記試験				